

集落の教科書

青森県弘前市相馬地区



ルールには濃さがある

ルールとは一般的に、規則や規定を意味しますが、この教科書における「ルール」とは慣例や風習、しきたりや習わしを含めた集団で守りたい約束事や文化全般を意味します。

地域のルールと言っても、必ず守った方が良い「強いルール」から、できれば守りたい「ゆるいルール」、言い伝えられている「慣習や風習」までその強さや色の濃さには違いがあります。ルールをどの程度守った方がいいのか、その基準を示しますので参考にしてください。

また、世代交代やコロナ禍を経て価値観が変容したり、ジェンダー平等、多様性が尊重される社会づくりが求められたりする中で、既存のルールを見直し、「令和版ルール」への再策定に活かしてもらうことを期待します。



集落の教科書 青森県弘前市相馬地区

2025 年 10 月 1 日第 1 版発行

発行人：相馬地区地域おこし協力隊活動応援協議会

〒036-1592 青森県弘前市大字五所字野沢 41 番地 1

編集長：弘前市相馬地区地域おこし協力隊（加賀新一郎、穂坂修基）

印刷所：有限会社 小野印刷所

協 力：相馬地区町会連合会、米山竜一（表紙写真）

※この教科書は「あおもり型農村 RMO 育成事業」で発行しました。

はじめに

相馬地区に移住を希望する方、地区外から転入された方・勤務する方、地域おこし協力隊や学生インターンシップ生などの外部人材の方向けに、相馬の風習やしきたりをまとめた教科書を作ることになりました。良いところだけを切り取った情報ではなく、相馬で「当たり前」とされている情報を事前に知ってもらうことで、スムーズにコミュニケーションになり、共によりよい地域を作っていく仲間になってほしいという願いを込めました。

この教科書が、相馬地区に関わろうとする方への情報提供に活用されることはもちろんのことですが、住民の方にとっても、他の町会の状況を知り、我が相馬を再確認するために、そして合併20周年を迎えた「今」の相馬の記録のために役立っていくことを願っています。

相馬地区地域おこし協力隊
穂坂 修基



目次

● 相馬地区はどこにある	3
● 相馬地区の概要	4
● 相馬地区の全体図	6
● 町会活動について	7
● 町会費やその他のお金について	10
● 町会維持のための工夫した取組	11
● 町会の役員つてなに？	13
● 町会長はどんなことをしているの？	15
● 地域の年間行事	17
● 地域交通の現状	19
● 地域医療・健康・福祉の現状	20
● 地域教育の現状	21
● 地域除雪の現状	22
● 地域の冠婚葬祭の現状	23
● 地域の情報伝達方法の現状	24
● 交流事業・外部人材受入の歴史	25
● 農村RMO設立に向けて	26
● 全住民アンケート結果	28
● 電話帳	32

相馬地区はどこにある

相馬地区は青森県の西南部にあり、西は連続する丘陵地で西目屋村、南は白神山地の峰々を境に秋田県に隣接しています。面積の8割が山林で、農用地は1割、総人口の3割が農家という農山村地域です。

青森県

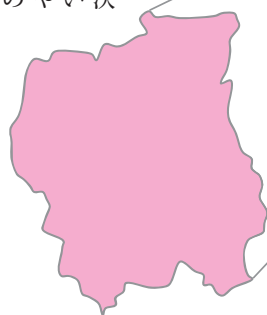


弘前市



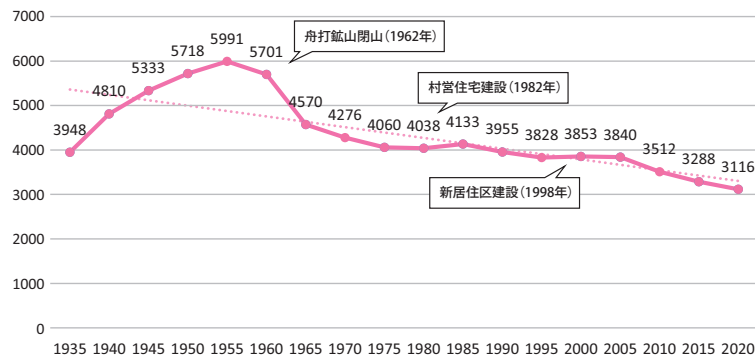
ミネラル豊富な雪解け水と肥沃な土壌に、昼夜の寒暖差が大きいことから、良質なりんごを作りやすい環境です。また、農業生産の90%以上をりんごが占める、全国でも類を見ないりんご生産に特化した「りんごのスペシャルリスト」が集まる地域です。

相馬地区



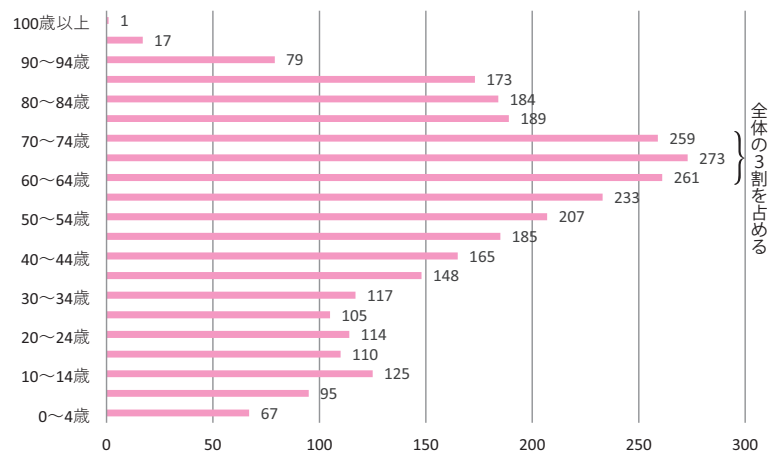
もともとは相馬村という自治体でしたが、2006年に岩木町、弘前市と新設合併し、村は消滅しました。旧村時代から過疎地指定を受けていますが、地区中心部の相馬総合支所から弘前市中心部の弘前市役所まで車で15分ほどであります。いわゆる「地方都市近郊農村」であると言えます。

相馬地区の人口推移（1935 年～ 2020 年）



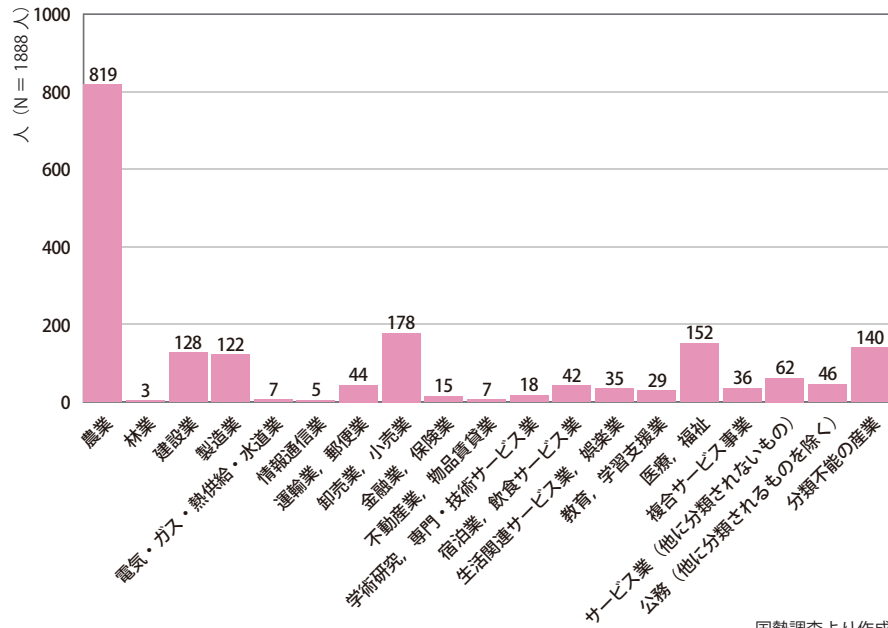
総務省統計局「国勢調査結果 人口等基本集計」（1935 年～ 2020 年）より作成

相馬地区の人口ピラミッド（年齢 5 階級 《2020 年》）



総務省統計局「国勢調査結果 人口等基本集計」（1935 年～ 2020 年）より作成

相馬地区の産業別従事者数（2020年）



国勢調査より作成

【相馬地区の人口推移】

舟打鉾山の閉山（1962年）に伴い地区の人口は大きく減少したものの、1981年から82年の村営住宅（安田団地）建設や1998年の新居住区（昂）といったインフラ整備により人口が微増した時期がありました。しかし、その増加も一過性のものであり、2000年からは減少が続いています。

【相馬地区の人口ピラミッド】

14歳以下の人口の割合が低く、65歳以上の人口の割合が高い、「つぼ型」の人口構造です。年代構成の主流は60代、70代で、全体の3割を占めています。すぐ下の50代、40代との人数差が大きく、10年後には生産年齢人口の大幅な低下が予想されます。

【相馬地区の産業別従事者数】

第一次産業従事者は821人、第二次産業従事者は250人、第三次産業従事者は677人（分類不能の産業は除く）であることがわかります。

相馬地区は農業というイメージから、住民のほとんどが農家だと思われ方が多いですが、第三次産業に従事し、市内外に通勤している人も多くいるのが現状です。

相馬地区の全体図 各町会の人口や世帯数について

相馬地区は現在、16の町会から構成されています。
町会加入率は99%で、ほぼ全世帯が加入していると言えます。

【相馬地区16町会】

- ・湯口町会（ゆぐち）
- ・昂町会（すばる）
- ・安田町会（やすた）
- ・黒滝町会（くろたき）
- ・五所町会（ごしよ）
- ・水木在家町会（みずきざいけ）
- ・紙漉沢町会（かみすきざわ）
- ・坂市町会（さかいち）
- ・藤沢町会（ふじさわ）
- ・相馬町会（そうま）
- ・前相馬町会（まえそうま）
- ・桐ノ木沢町会（きりのきざわ）
- ・山田町会（やまだ）
- ・大助町会（おおすけ）
- ・藍内町会（あいない）
- ・沢田町会（さわだ）



▲合併前の
町会事情は、
『相馬村開村記念誌』を
参照



<p>ゆぐち 湯口</p> <p>人口：394人 世帯数：142 班の数：14</p>	<p>すばる 昂</p> <p>人口：272人 世帯数：95 班の数：8</p>	<p>やすた 安田</p> <p>人口：186人 世帯数：34 班の数：8</p>	<p>くろたき 黒滝</p> <p>人口：283人 世帯数：82 班の数：9</p>
<p>ごしよ 五所</p> <p>人口：454人 世帯数：127 班の数：12</p>	<p>みずきざいけ 水木在家</p> <p>人口：206人 世帯数：63 班の数：5</p>	<p>かみすきざわ 紙漉沢</p> <p>人口：356人 世帯数：114 班の数：14</p>	<p>さかいち 坂市</p> <p>人口：152人 世帯数：34 班の数：4</p>
<p>ふじさわ 藤沢</p> <p>人口：118人 世帯数：37 班の数：4</p>	<p>そうま 相馬</p> <p>人口：151人 世帯数：44 班の数：4</p>	<p>まえそうま 前相馬</p> <p>人口：48人 世帯数：25 班の数：3</p>	<p>きりのきざわ 桐ノ木沢</p> <p>人口：92人 世帯数：22 班の数：4</p>
<p>やまだ 山田</p> <p>人口：87人 世帯数：26 班の数：3</p>	<p>おおすけ 大助</p> <p>人口：101人 世帯数：33 班の数：3</p>	<p>あいない 藍内</p> <p>人口：29人 世帯数：12 班の数：4</p>	<p>さわだ 沢田</p> <p>人口：20人 世帯数：6 班の数：3</p>

2024年4月1日現在



▲草刈り



▲側溝の泥上げ



▲ゴミ拾い

【町会活動ってなに？】

住民自身で地域の課題を解決する活動のことです。地域の掃除やゴミ出しの管理、防犯パトロールや災害の時の助け合い、祭りの実施などの活動がメインです。

「自分たちの住む集落は自分たちで維持しよう」という気持ちで町会活動に取り組んでいる方が多いです。

町会の総会

総会は、町会における最高意思決定機関であり、会員によって構成される最も重要な会議です。年に1回開催され、前年度の活動報告や決算報告、新年度の活動計画や予算案などが話しあわれます。原則、各世帯から1名参加が必須で、欠席には委任状が必要です。

春の一斉清掃

側溝に溜まった泥を取り除く、泥上げと呼ばれる作業を行います。泥上げで出た土砂や泥は土のう袋に入れ、市に回収してもらいます。

泥上げと一緒に、ゴミ拾いや草刈りを行う町会もあります。

各町会での主な活動

湯口	<ul style="list-style-type: none"> ・春の一斉清掃（側溝の泥上げ）・山の神（社）の雪下ろし ・石戸神社の祭り（春、夏、収穫後）・総会 ・公民館、神社境内の清掃・除雪
昴	<ul style="list-style-type: none"> ・春と秋の一斉清掃（集会所の雪囲い・清掃） ・夏祭り（コロナ前まで実施）・昴を楽しむ会・総会
安田	<ul style="list-style-type: none"> ・春の一斉清掃（側溝の泥上げ、ゴミ拾い、集会所清掃） ・総会
黒滝	<ul style="list-style-type: none"> ・春の一斉清掃（側溝の泥上げ）・山の神（社）の雪下ろし ・稲荷神社の祭り（大祭）・数珠回し・総会

町会活動について②

五所	<ul style="list-style-type: none"> ・春の一斉清掃（側溝の泥上げ） ・神社の清掃・五所神社の祭り（宵宮、大祭、収穫祭） ・総会
水木在家	<ul style="list-style-type: none"> ・春の一斉清掃（側溝の泥上げ）・神社の清掃 ・大山祇神社の祭り（大祭、収穫祭）・お地藏様・総会
紙漉沢	<ul style="list-style-type: none"> ・春の一斉清掃（側溝の泥上げ、ゴミ拾い）・草刈り ・上皇宮の祭り（宵宮、大祭、収穫祈願祭、新嘗祭） ・総会
坂市	<ul style="list-style-type: none"> ・春の一斉清掃（側溝の泥上げ、草刈り）・お地藏様 ・雷電宮の祭り（大祭、初詣）・イタコ・総会
藤沢	<ul style="list-style-type: none"> ・春の一斉清掃（側溝の泥上げ、ゴミ拾いなど）・総会 ・野田神社の祭り（大祭、初詣）、共同墓地などの草刈り
相馬	<ul style="list-style-type: none"> ・春の一斉清掃（側溝の泥上げなど）・さなぶり ・馬頭観音の宵宮と大祭（旧暦5月5日）
前相馬	<ul style="list-style-type: none"> ・春の一斉清掃（側溝の泥上げ）・さなぶり ・宝竜大権現祠堂の祭り（大祭）・総会
桐ノ木沢	<ul style="list-style-type: none"> ・春の一斉清掃（側溝の泥上げ、ゴミ拾いなど）・さなぶり ・淡島神社の祭り（春祭り、大祭、新嘗祭）・総会
山田	<ul style="list-style-type: none"> ・春の一斉清掃（側溝の泥上げ、雪囲いの撤去など） ・稲荷神社の祭り（大祭）・お地藏様・総会
大助	<ul style="list-style-type: none"> ・春の一斉清掃・さなぶり・おぼしな様・うさぎ狩り ・大助野田神社の祭り（大祭、初詣）・総会
藍内	<ul style="list-style-type: none"> ・春の一斉清掃（側溝の泥上げ）・草刈り ・さなぶり・総会
沢田	<ul style="list-style-type: none"> ・春と夏の一斉清掃（側溝の泥上げ、草刈り）・さなぶり ・忘年会・沢田神明宮の祭り（ろうそくまつりと大祭）

町会活動や総会に欠席する場合、過怠金（＝オドリ）を徴収する町会があります。ご自身で確認しましょう。



宵宮（よみや）

神社の大祭の前夜に行われるお祭りのことです。相馬地区の宵宮は、弘前露店商業組合に加入していないため、観光コンベンション協会が発行する「宵宮祭典出店日程表」に載っていません。地域住民による地域住民のための宵宮になっているのが特徴です。

早苗饗（さなぶり）

早苗饗とは、田植え初めに田の神を迎える行事である早降（さおり）に対するもので、田植えが終わって田の神を送る行事、または、そのときに行う飲食の行事のことを言います。



イタコ

死者の霊を自分に憑依させ、その霊の声を生者の前で語る「口寄せ」という儀式を行う巫女のことをイタコと言います。老人会が中心となって、公民館にイタコを呼び、口寄せをしてもらっている町会があります。

百万遍（ひゃくまんべん）

塚を集落の平穏や自分自身の健康、地域の子供たちの無病息災などの守りとするため、住民が大きな数珠を回すなどする行事を「百万遍」と言います。相馬地区の場合、庚申塚の前で百万遍の数珠回しをしている町会がいくつかあります。



地蔵講

旧暦6月23日に、集落はずれの地蔵の祠で宵宮をし、地蔵に新しい着物や浴衣を着せて化粧し直す風習です。比較的高齢者層の女性が行うため、「ババ講」と通称されています。現在もいくつかの町会が行っています。



町会費やその他のお金について

世帯数や運営方法によって金額や集金方法は異なりますが、どれも町会の運営や維持管理のために欠かせない大切なお金です。町会費のほか、地域の神社の維持費や各種負担金もまとめて徴収しています。

	年間の合計金額と 集金の回数・時期	内訳
湯口	年間 12,000 円程度 年に 2 回集金：4 月,10 月	町会費、神社維持費、負担金※
昂	年間 12,000 円程度 (年 or 半年払い) 年に 1-2 回集金：4 月,10 月	町会費、負担金※
安田	年間 18,000 円程度 年に 12 回集金：毎月	町会費、神社維持費、負担金※
黒滝	年間 12,000 円程度 年に 2 回集金：4 月,10 月	町会費、神社維持費、負担金※
五所	年間 14,000 円程度 (年 or 半年払い) 年に 1-2 回集金：4 月,10 月	町会費、神社維持費、負担金※
水木在家	年間 19,000 円程度 年に 1 回集金：4 月	町会費、神社維持費、負担金※
紙漣沢	年間 10,500 円程度 年に 2 回集金：4 月,9 月	町会費、神社維持費、負担金※
坂市	年間 20,000 円程度 年に 2 回集金：4 月,9 月	町会費、神社維持費、負担金※
藤沢	年間 24,000 円程度 年に 12 回集金：毎月	町会費、神社維持費、負担金※
相馬	年間 18,000 円程度 年に 3 回集金：4 月,6 月,8 月	町会費、神社維持費、負担金※
前相馬	年間 30,000 円程度 年に 12 回集金：毎月 (口座振替)	町会費、神社維持費、負担金※
桐ノ木沢	年間 18,000 円程度 年に 1 回集金：4 月	町会費、神社維持費、負担金※
山田	年間 20,000 円程度 年に 2 回集金 (雪囲いの設置・撤去時)	町会費、神社維持費、負担金※
大助	年間 24,000 円程度 (年 or 半年払い) 年に 1-2 回集金：4 月,10 月	町会費、神社維持費、負担金※
藍内	年間 24,000 円程度 年に 12 回集金：毎月 (口座振替)	町会費、神社維持費、負担金※
沢田	年間 36,000 円程度 (集金は個別対応している)	町会費、神社維持費、負担金※

※社会福祉協議会、安全協会、防犯協会、相馬地区連合会の負担金のほか、赤い羽根共同募金、赤十字活動資金、消防団協力金などが含まれます。



【コミュニティ助成事業の活用】

コミュニティ活動に必要な備品や集会施設を整備したり、活力ある地域づくりをしたりすることに対して一般財団法人自治総合センターが助成する「コミュニティ助成事業」があります。紙漣沢・水木在家・山田町会が、この事業（交付金額：30万から250万円まで）に申請し、公民館を再整備しました。

〈コミュニティ活動備品の整備例〉



ロボット掃除機（紙漣沢）



FF式ストーブ（水木在家）



エアコン（山田）



印刷機（紙漣沢）



カラオケセット（水木在家）



液晶テレビ（山田）

【資源ゴミ回収で町会費をカバー】

桐ノ木沢町会では、資源ゴミ（空き缶や空きビンなど）用の倉庫型の捨て場を町会で設置しています。ゴミがたまってきたら、町会長が業者に連絡し、処分を依頼します。業者に引き渡した資源ゴミには、量に応じた売却金が支払われるほか、「再生資源回収運動」という自主的な市のリサイクル活動に参加したことになるため、市から1キログラムあたり4円の報償金が交付されます。

業者からの売却金は年間2万円程度、市からの報奨金は年間1万円程度で、その両方を町会の収入とし、町会活動に活用しています。



【班長の集金作業をカット】

班長が町会費を訪問集金する手間を減らすために、前相馬・藍内町会は、町会費を口座振替（引き落とし）で集金しています。毎月自動的に集金が行われるため、住民サイドの手間も減りました。

【弘前市市民参加型まちづくり1%システムの活用】

「弘前市市民参加型まちづくり1%システム」は、個人市民税の1%相当額を財源に、市民自らが実践するまちづくり、地域づくり活動に係る経費の一部を支援する、公募型の補助金制度です。

○旧長慶天皇御陵墓参考地周辺整備事業

旧長慶天皇御陵墓参考地は、多くの方が訪れているものの、周辺に駐車場や休憩所等がなかったり、歩道が滑りやすかったり、雑木が多かったりしていました。そこで、紙漣沢町会が看板や休憩所の設置、草刈りなどの環境整備をしました。

補助金額 500,000 円(総事業費 592,106 円)



【女性町会長の活躍】

安田町会では、2025 年度から女性の町会長が就任し、アクティブに活動しています。女性が町会長になるのは、町会初の事例になります。町会役員が高齢男性などの一部に偏ることなく、男女問わず幅広い年齢層で構成されることは、男女共同参画としても、多様性の観点からとても重要です。

内閣府の調査(2024 年)によると、市の「自治会長に占める女性の割合」は 2.5 % であり、全国的にみてもかなり低い水準です。安田町会の事例は、市としても意義ある一歩だと言えます。

通称：相馬時間

地区に住んでいると、ハガキや回覧板などで町会活動や会議のお知らせが届きます。お知らせに書かれた集合時間には注意が必要です。「相馬時間」と言われる時差があるからです。

例えば、「6時から美化活動開始」と記載されていれば、5時30分には作業が始まっていることがあります。この30分の時差が相馬時間です。したがって、この時差を考慮した上で集合したり、作業を開始したりする必要があります。

一方、「書いてある時間に集合したのに遅刻扱いとは何事だ!」「初めから実際に(作業が)始まる時間を書いておけばいいのに」という、とくに若い世代の声があり、最近ではこの時差が見直されつつあるそうです。



町会の役員ってなに？ 役職や任期、決め方について①

相馬地区では、それぞれの町会が自治組織として成り立っています。各町会には必ず町会長があり、他に副町会長や会計などを決め、運営しています。

	任期・決め方	役員
湯口	町会長、総務、会計 監査委員（長1名、委員2名）	町会長は原則2期4年で交代 総会で合議・決定
昂	町会長、副町会長2名 会計、監事2名	町会長は原則3期6年で交代 総会で合議・決定
安田	町会長、副町会長、会計 監事、幹事（各棟に1名）	町会長は原則2期4年で交代 総会で合議・決定
黒滝	町会長、会計（帳簿ごと） 総務（連絡係）	町会長は原則2期4年で交代 総会で合議・決定
五所	町会長、副町会長、会計 監事3名	町会長は原則2期4年で交代 総会で合議・決定
水木在家	町会長、副町会長、会計 監事	町会長は原則2期4年で交代 総会で合議・決定
紙漉沢	町会長、副町会長、会計 監事3名、監査、市議会議員、 農業委員、農協役員、消防団長	町会長は原則2期4年で交代 総会で合議・決定
坂市	町会長、副町会長、会計	町会長は原則2期4年で交代 総会で合議・決定
藤沢	町会長、副町会長、会計 監事2名	町会長は原則2期4年で交代 総会で合議・決定
相馬	町会長、副町会長、会計 監事、審議4名	町会長は原則2期4年で交代 総会で合議・決定
前相馬	町会長、副町会長、会計	町会長は原則2期4年で交代 総会で合議・決定
桐ノ木沢	町会長、副町会長、会計	町会長の任期は1期2年 総会で合議・決定
山田	町会長、副町会長、会計 監事2名	町会長は原則2期4年で交代 総会で合議・決定
大助	町会長、副町会長、会計 役員4名	町会長は原則2期4年で交代 総会で合議・決定
藍内	町会長、副町会長兼会計	町会長は原則2期4年で交代 総会で合議・決定
沢田	町会長、副町会長、会計	町会長は原則2期4年で交代 総会で合議・決定

意欲・熱意があったり、致し方ない町会事情がある場合は、町会長の任期を合議のうえ延長することがあります。



町会の役員ってなに？ 役職や任期、決め方について②

各町会には集落運営のために、さまざまな目的をもつ役職や組織があります。中には活動が止まっているところもありますが、主なものを紹介します。

	役員	決め方
湯口	公民館長・会計、神社長 審議員（各区より1名選出）	総会で合議・決定
昂	公民館長、副公民館長 理事（各班より1名選出）	総会で合議・決定 理事は2年ごとの輪番制
安田	公民館長、子供会会長 婦人会会長、婦人会会計	総会で合議・決定
黒滝	公民館長、納税組合長・会計 担い手センター会計、黒滝会	総会で合議・決定
五所	公民館長、納税組合長	総会で合議・決定
水木在家	公民館長	総会で合議・決定
紙漣沢	公民館長	総会で合議・決定
坂市	公民館長・会計 テレビ組合長・副会長	総会で合議・決定
藤沢	公民館長、納税組合長 森林組合長、テレビ組合長 神社長	総会で合議・決定
相馬	公民館長・会計 納税組合長、森林組合長	総会で合議・決定 森林組合長は副長会長が兼務
前相馬	公民館長、子供会長 納税組合長	総会で合議・決定
桐ノ木沢	公民館長	総会で合議・決定
山田	公民館長・会計、森林組合長 納税組合長・会計	総会で合議・決定 森林組合長は副長会長が兼務
大助	公民館長、納税組合 森林組合長	総会で合議・決定
藍内	公民館長、納税組合長	総会で合議・決定
沢田	公民館長（現在不在）	総会で合議・決定



【町会長とは】

町会長は、地域のまとめ役として、ほかの役員や地域住民がそれぞれ十分に力を発揮できる環境づくりを行い、町会活動を活性化させていく役割があります。また、行事の責任者やほかの団体との橋渡し役、地域住民の意見を吸い上げ行政に伝えるなどの対外的な役割や、ほかの役員と協議しながら町会の基本的な方針を示し、会の活動をリードしていくリーダーとしての役割があります。

任期は原則2期4年ですが、意欲・熱意があったり、致し方ない町会事情がある場合は、町会長の任期を延長することがあります。

【業務内容】

○広報誌やお便りなどの配布・回覧

月に1回、市の広報誌「広報ひろさき」や相馬小・中学校の「学校だより」、相馬こども園、中央公民館相馬館、相馬駐在所、弘前市議会、長慶苑（地域の特別養護老人ホーム）のお便りなどが町会長の自宅に届きます。その書類を毎戸配布もしくは回覧する準備を町会長が行い、班長が各家庭にポストインしたり回覧板をまわしたりします。

○町会の安全確認および市への報告

住みよい集落を維持するために町会内を巡回し、どこか変わった様子はないか、危険なところはないかを確認しています。また、住民からの情報を集めます。町会に対応できそうもないことに関しては、町会長が市に連絡し、担当課に対応してもらいます。町会長から連絡してもらおうと、即対応してもらえる傾向があるからです。

〈報告例〉



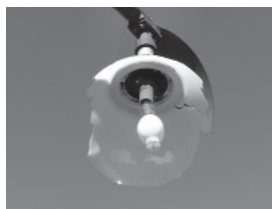
道路に穴が空いている



倒木が道路を塞いでいる



塀が倒れそう



街灯が壊れている



側溝が破損している



道路脇の斜面が崩れている

○補助事業の申請／書類の提出

町会が市に協力する事務や美化活動などに対して、市から支給される報償金の申請や報告書の提出、社会福祉協議会の除雪支援事業、町会活動や総会の案内づくりなど、書類作成の仕事が多くあります。また、市や関係団体から、目を通さなければならない書類がたくさん届きます。

○相馬地区町会連合会の集まり／会議

よりよい地域づくりを推進するため、全 16 町会長と関係団体が顔を合わせ、情報交換を行っています。市からは、相馬地区のエリア担当（相馬総合支所民生課長、総合支所職員の 2 名）が出席し、行政情報を提供したり、関係課とのつなぎ役となって地域課題解決に協力したりしています。

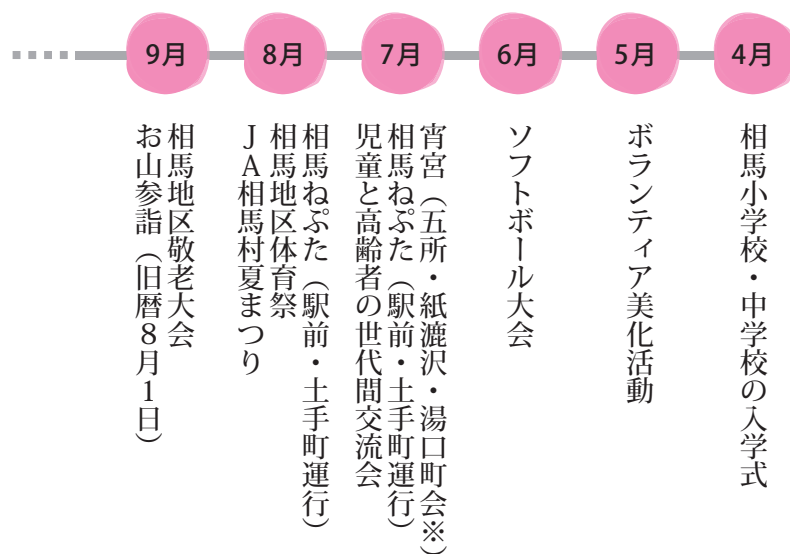


すべての町会長が、相馬のため、町会のために尽力しています。

〈町会長をしていて大変なこと〉

- ・ご近所トラブルの相談から単身高齢者の安否確認まで、なんでも頼られてしまう…。
- ・住民の苦情を聞かなければならない。まるで苦情処理班のよう…。
- ・平日お昼の会議と提出しないといけない書類が多い…。
- ・広報誌の毎戸配布にトータル 2～3 時間かかってしまう…。 など

地域の年間行事① ～祭りやイベント～



※五所町会…五所神社、紙漣沢町会…上皇宮、湯口町会…覚應院

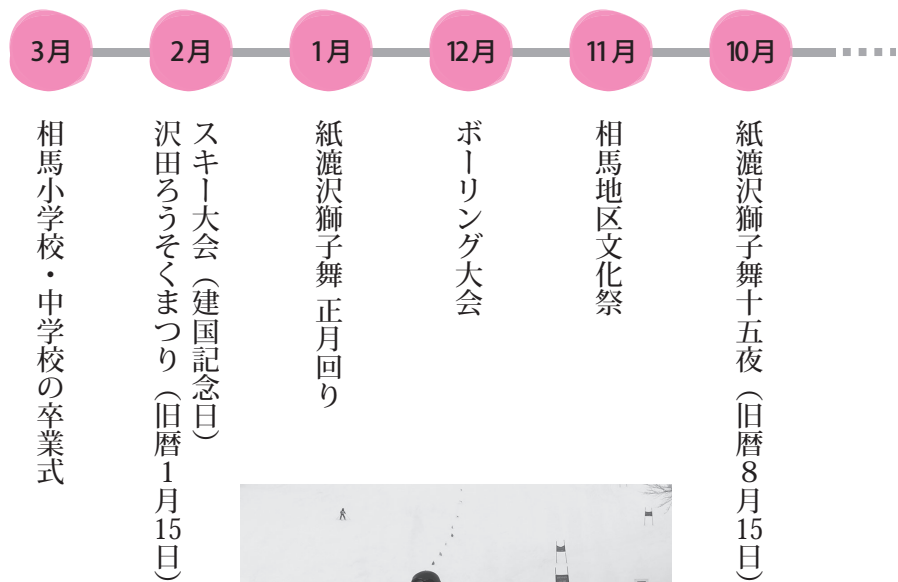
体育祭をどうしよう

村時代から毎年8月に行ってきた体育祭。いま、そのあり方について再考を迫られています。人口減と高齢化にともなう参加者の減少、夏の酷暑化に、コロナ禍を経ての価値観の変容など、さまざまな要因が重なり、近年は中止を余儀なくされています。今後とも開催することは難しいでしょう。

しかし、地域コミュニティ維持の観点から、子どもからお年寄りまでが集まり、スポーツを楽しめる機会は残したいものです。相馬地区体育協会のスタッフが体育祭の代替となるイベントを検討しています。

季節を問わず、老若男女が手軽にできるスポーツということで、2025年度はボート大会を試験的に行うことにしました。果たして、体育祭の代替となりうるのでしょうか。





スキー大会の様子

沢田ろうそくまつりを どうしよう

沢田神明宮の大祭の前夜祭で、450年以上の歴史があると言われている「沢田ろうそくまつり」。その祭りのノウハウをどう継承していくかが課題となっています。

沢田神明宮を管理する沢田町会の住民は減り、祭りの実行委員会は高齢化しています。担い手がいなくなると、祭りのやり方（いつ・どこで・誰が・どのように・何をするか）が分からなくなってしまう。

その問題を解決するために、実行委員会と地域おこし協力隊で、祭り開催までのプロセスを言語化して、マニュアルにまとめる作業を行いました。ひとまず安心ですが、担い手が必要なことには変わりません。結局は「人」が祭りをを行うからです。持続可能な祭りにするにはどうすればいいのでしょうか。考え中です。



地域交通の現状



相馬地区の公共交通路線図 出典：相馬地区公式 HP

【住民の足】喫緊の課題】

住民の大半は自家用車で移動をしています。相馬に住むうえでは、車が欠かせません。

近年、バス路線の減便や統合によって地域の公共交通の利便性が低下しています。高齢者が多く、今後、運転免許返納者の増加が見込まれるなか、交通弱者の足をいかにして確保していくかが喫緊の課題となっています。

【路線バス】

弘南バス株式会社が運行する路線バスがあり、相馬庁舎とJR奥羽本線「弘前駅」や弘前市役所、西目屋村役場、聖愛高校をつないでいます。

弘前駅行きの始発は午前7時3分、最終便が午後7時43分（土曜・日曜・祝日は午後6時43分）で、1時間に1本ほど運行されています。

弘前高校や弘前南高校、弘前中央高校に通う生徒は、直行便がなく乗り継ぎが必要となるため、バス通学に不便を感じています。また冬季はダイヤに乱れが生じるため、乗り換えが上手いかないことがあります。

【予約型乗合タクシー】

バス路線の廃止に伴い、代替として北星交通株式会社が「相馬地区予約型乗合タクシー」を運行しています。運賃は150円（一部300円）で、利用する1時間前までに電話予約するシステムとなっています。なお、帰りの分の予約は、乗車時に口頭ですることができます。

〈連絡先〉

・北星交通

(0172-3333333)



地域医療・保健・福祉の現状

【地区唯一の診療所が閉業】

2024年12月、地区唯一の診療所が閉業しました。よって市街地に出ないと医療機関にかかることができなくなってしまうしました。

公共交通（バスと予約型乗合タクシー）の利便性が良いとは言えないなか、免許返納をした高齢者や障害者などの交通弱者の医療アクセスが課題となっています。



【児童福祉】

未就学児童については、相馬こども園に地域子育て支援センターを併設したことにより、地域における保育サービスの充実が図られています。

また、就学児については、放課後帰宅しても家庭に保護者もしくは保護者に代わる人（同居の親族、その他の方を含む）がいない小学校1～6年生までの児童を対象とした放課後児童クラブ（学童保育）が相馬小学校内に設置されています。

【高齢者の保健・福祉】

高齢者の保健・福祉については、市が「相馬地区まるごと健康塾」という事業を実施しています。内容としては、健康増進講座や文化祭に出席する作品制作などの季節に応じたレクリエーションを行ったり、看護師による血圧測定や体の調子を整えるアドバイス、ラジオ体操やストレッチなどの軽運動をしたりするものです。

さらには「星と森のロマントピア」森林科学館内にて高齢者向けの健康トレーニング教室を開催し、高齢者が地域社会の重要な一員として活躍できる環境の醸成に努めています。

高齢者が住みやすい相馬を



提供：東奥日報社

【新しい地域福祉団体が始動】

地区内の高齢者の生活を支援する任意団体「相馬凸凹（でこぼこ）学会サービス」の活動が2025年5月31日から始まりました。移動手段に悩む65歳以上の高齢者の通院や買い物に付き添ったり、単身世帯の家の清掃や草刈り、除雪などを手伝ったりするものです。

代表の三浦りつさんをはじめ13名体制でサービスを運営。事務局は地域おこし協力隊（加賀新一郎）で、裏方として会をサポートしています。

地域教育の現状

相馬地区には幼児教育施設と公立の小学校、中学校があります。高校、大学などの高等教育機関や学習塾などの私的教育機関はないため、中心市街地や市外に出る必要があります。

【子ども園】

- 相馬こども園（弘前市認定保育園）
- ・創立…2019年4月1日
- ・園児数…43人※

【小学校・中学校】

- 弘前市立相馬小学校
- ・創立…1977年4月1日
- ・児童数…92人※

- 弘前市立相馬中学校
- ・創立…1947年3月29日
- ・生徒数…40人※

※2025年7月1日現在

【特色ある取り組み】

相馬こども園、相馬小学校、相馬中学校では地域に根ざした学びとコミュニケーションづくりの実践を行っています。地域コーディネーターや地域おこし協力隊などと連携して地域のヒト・モノ・コトといった資源を教材化し、「総合的



な学習の時間」などで活用しています。

○JA相馬村と連携した学習

相馬こども園では、もち米づくりをしているJA相馬村青年部の支援のもと、毎年餅つきを行っています。臼と杵を使った本格的な餅つきです。

相馬小学校では、JA相馬村女性部の支援のもと「りんご学習」を行っています。受粉や摘果、葉とり、収穫といった生産作業だけでなく、収穫したりんごを直売所で販売したり、出荷している様子や選果場の見学をしたりして、りんご産業を体系的に学習しています。



○地域行事を題材とした学習

相馬有志会（お山参詣）、紙漉沢獅子舞保存会、沢田ろうそくまつり実行委員会といった地域団体と連携し、地域の伝統文化や行事を体験する学習を行っています。

例えば沢田ろうそくまつり実行委員会とのコラボでは、5年ぶり開催を目指す祭りの課題を協働して解決する展開となりました。児童は、地域住民の一員として実社会に触れる経験を得られました。

地域除雪の現状

【地域独自の公的な除雪運営】

相馬地区内の除雪は、市道路維持課の直営（以下…相馬直営隊）で行われています。湯口から沢田、藍内までの地区全域、距離にして約51キロの道路の除排雪を担っています。一方、相馬以外の地区（岩木地区の一部は除く）は市から委託を受けた業者が除排雪を行っています。



○なぜ相馬の除雪は直営体制なのか

除雪経費は、想定外にかかった地方自治体の経費を補うために配る特別交付税措置が得られます。しかし、市としては可能な限り体制を簡便化し経費を削減しようとするものです。とくに市町村合併自体が規模の経済性による経費削減を狙うものであり、直営体制はそうした方向性に逆行します。

他方、より安価で応札する建設会社に委ねる全市一律の除雪では、道路事情、住民の生活事情に暗いことや出動に柔軟性を欠きがちであることから住民の苦情も招きやすいです。

そこで相馬ではあえて独自の直営体制を残し、苦情のリスクを下げることで追加出動の必要性を抑え、さらに若い農家の副業だからこそ経費も圧縮できると合併時に本庁部局を説得し、相馬直営隊を残した経緯があります。

【個人の除雪】

相馬では、12月中旬から2月下旬ごろまで積雪するため、日常生活を送る上では、日々の除雪作業が必要不可欠です。除雪をしないと、車庫から車を出せなかったり、玄関や窓が埋もれてしまったります。除雪にはマナーがあり、気を

つけないと近隣トラブルに発展してしまう場合があります。



○相馬の除雪マナー

- ・私有地の雪は私有地内に積み上げる
- ≠無断で空き家・地、園地に排雪しない
- ≠用水路・排水路への投雪は禁止

- ・道路除雪後の戸口や歩道の雪は道路わきに積み上げる
- ≠道路に戻さない



地域の冠婚葬祭の現状



自宅で行われた結婚式（1957年）

出典：『相馬百年』

【お祝いごとがあった時】

近年、結婚や出産のお祝い、新築、快気祝いなどを簡略化しようという流れがあります。町会単位でなく、個人的な関係性の中でお祝いすることが主流になっています。

以前は結婚式を自宅や公民館（長慶閣や藤沢活性化施設持寄館など）で行うことがありましたが、最近では結婚式場で執り行う人が多数です。

【お悔やみごとがあった時】

家族に不幸があったとき、多くの町会では、町会長や班長に連絡すると、自然に町会内に伝わります。

以前は葬式を自宅や公民館で行っていましたが、最近ではセレモニーホールや葬儀場を利用するのが一般的になっています。

住んでいる町会によっては、葬儀のお手伝いをお願いされることもあります。お手伝いの内容は、葬儀場での受付や記帳、香典の計算など簡単な作業が多いです。

町会によって「香典」に関する風習は異なります。同じ町会の人には香典返しはせず挨拶状を渡すという町会もあります。

す。少しでも喪主の負担を減らそうとした背景があるそうです。

個人の香典の金額は、関係性にもよりますが、おおよそ2千円から1万円が相場です。

※個人的な付き合いがなくても、班内のご家族が亡くなられた際には葬儀に参列することが慣しのようなです。



▲明治～昭和期の相馬のことは『相馬百年』を参照



地域の情報伝達方法の現状



【全戸配布・回覧板】

全戸配布（すべてのお宅に配布）と回覧板を活用した情報伝達システムがあります。相馬では主に、
・町会からのお知らせ（町会活動や行事、集金など）
・弘前市からのお知らせ（「広報ひろさき」など）
・公民館、駐在所、小・中学校からのお知らせ

3つの情報が全戸配布もしくは回覧板として各世帯に配布・伝達されます。

回覧板は基本的に、町会長↓班長↓班員と回ってきます。回覧板に入れる情報や頻度は町会によって異なります。

【JA相馬村広報誌「りんごの森」】



JA相馬村の組合員と准組合員に配布される広報誌「りんごの森」は、生産情報のほか、地域内の出来事も掲載されているため、地域のことを知るのに有用です。オンラインで誰でも閲覧することができます。

【防災行政無線・防災行政アプリ】

災害情報や住民生活に必要な情報、緊急度の高い情報は、防災行政無線とその無線をスマートフォンから聴くことができるアプリなどで確認することができます。



○災害情報

・避難指示や避難勧告、土砂災害警戒情報など

○住民生活に必要な情報

・定時放送（ミュージックチャイム）や農協からのお知らせ
・熱中症注意喚起、クマの出没情報など

○緊急時の情報

・震度5強以上の地震発生時、国民保護に関する情報など

○確認用テレフォンサービス

・最新の放送内容を確認することができます。

（確認用電話番号…0172-40-7110）

○防災行政アプリ（「コスモキャスト」）

交流事業・外部人材受入の歴史

【早稲田大学のゼミ受入】



地域づくりに関するゼミの先駆的な取り組みでした。

早稲田大学の宮口侗勉先生の地理学ゼミが、1992年から2016年まで毎年「農村研究」と題して相馬で合宿を行ってきました。農家グループの「炉辺懇談会」やJA相馬村青年部、相馬村職員が中心となって受け入れました。受入れた学生の人数は延べ200人を超え、「元氣な農村」である象徴の一つとなる交流でした。

【地域おこし協力隊の受入】



集落支援員の導入についても議論されたことがあります

青森県に1人も地域おこし協力隊がいなかった頃、弘前大学の平井太郎先生が市に働きかけ、相馬地区で協力隊受入の検討が始まりました。市は当初「星と森のロマンシア」の立て直しミッションで受入れようと画策していましたが、相馬地区の住民と何度も話し合いを重ねるなかで変更。相馬地区地域おこし協力隊活動応援協議会のメンバーが話し合った結果、その時々で必要なミッションを考え、適任者を募集する方針になりました。今まで計8名の隊員を受入れています。

〈協力隊一覧〉

- 1期生：下田翼、米山竜一
- 2期生：北野教正、鹿内あかり
- 3期生：石田有希子、佐野りさ
- 4期生：加賀新一郎、穂坂修基

〈主なミッション〉

- ・各種メディアを活用した地域の広報活動など
- ・地域女性グループと連携した農産物加工品の開発など
- ・地域女性のネットワークづくりや活躍の場の創出など
- ・地域コミュニティの維持、地域の伝統文化の振興など

【農村RMOとは】

農村RMO（Region Management Organization）とは、複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組を行う組織のことです。

持続可能で活力ある「元気な農村」であるために、相馬でも農村RMOを設立できないだろうか、検討・模索しています。



出典：農林水産省 HP

1 年目

【スタートアップ支援】

「あおもり型農村RMO育成事業」に採択され、3年間の支援を受けています。併せて『あおもり型農村RMO』育成事業に係るモデル集落に指定され、3年間の中間支援組織のサポートが入ることになりました。

【先進地視察】

地域運営組織の取組事例を学ぶために、先進地視察を行いました。

〈視察先〉

- ・一般社団法人はなやまネットワーク（宮城県栗原市花山地区）
- ・一般社団法人いであい（岩手県奥州市伊手地区）

【町会長ヒアリング】

全16町会の町会長を対象に、町会組織、地域行事、町会の困りごと・不安などを聞き取り調査しました。

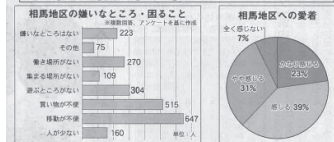
【全住民アンケート】

住民が感じている地域の魅力や困りごとを把握するために、地区内在住の12歳以上を対象に、アンケートを行いました。

農村RMO設立に向けて②

「住民の足」喫緊の課題

弘前・相馬地区アンケート



「愛着を感じる」9割強

相馬地区への愛着を感じる人は、アンケートの結果、9割以上と、非常に高い割合で確認された。一方で、歩き場所がない、乗る場所がない、買い物が不便、緑地が少ない、人が少ないなどの課題も、多くの住民から指摘された。特に「歩き場所がない」は270人、「乗る場所がない」は109人、「買い物が不便」は515人、「緑地が少ない」は547人、「人が少ない」は160人という結果が出た。

提供：陸奥新報社

「移動・買い物物が不便」上位

アンケートの結果、相馬地区への愛着を感じる人は9割以上と、非常に高い割合で確認された。一方で、歩き場所がない、乗る場所がない、買い物が不便、緑地が少ない、人が少ないなどの課題も、多くの住民から指摘された。特に「歩き場所がない」は270人、「乗る場所がない」は109人、「買い物が不便」は515人、「緑地が少ない」は547人、「人が少ない」は160人という結果が出た。

「移動・買い物物が不便」上位という結果が出た。これは、相馬地区の住民にとって、非常に重要な課題である。特に、歩き場所がない、乗る場所がない、買い物が不便、緑地が少ない、人が少ないなどの課題も、多くの住民から指摘された。

相馬地区 持続の一助に

地域おこし協力隊・加賀さんと穂坂さん 全戸調査



地域おこし協力隊・加賀さんと穂坂さん 全戸調査

提供：陸奥新報社

弘前
ニーズや課題把握へ
11項目を「仕組みできたら」
相馬地区の持続可能な発展を目指す。地域おこし協力隊・加賀さんと穂坂さんが、全戸調査を実施している。住民のニーズや課題を把握し、持続可能な発展を目指す。



提供：陸奥新報社

3年目

2年目

【集落の教科書の作成】

町会長ヒアリングや全住民アンケートで知り得たこと、わかったことをまとめ、共有する手段として作成しました。

【学生インターンの受入】

地域づくりインターンの会（事務局…法政大学）と青森大学の学生を受け入れました。若者を中心に、変化を生み出す外部人材が地域に入り始められるよう、地域を開く取り組みの一つとして実施しました。

【農カフェオープンに向けて】

農カフェのオープンを目指す地域の方を応援するために、メニュー開発や農カフェ視察などをしました。

【先進地視察】

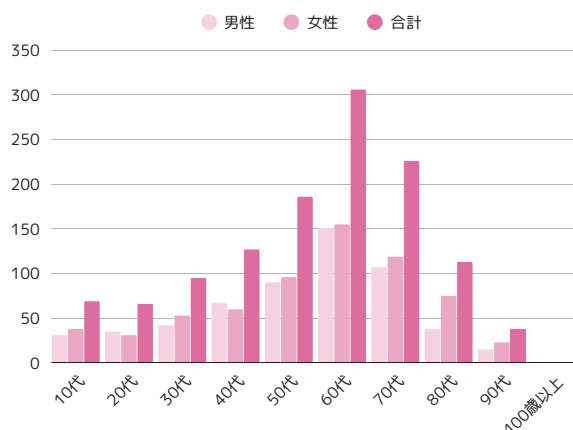
〈視察先〉
・ふじさと粕毛地域活性化協議会
（秋田県藤里町粕毛地区）

農村RMO設立へ・・・

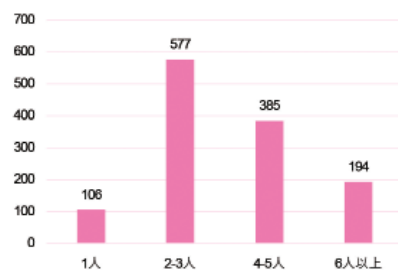
全住民アンケート結果①

相馬地区地域おこし協力隊（加賀新一郎、穂坂修基）は、地区に居住する12歳以上の全住民（2555人）を対象にアンケートを実施しました。1281人の方から回答がありました。回答率は50・1％。回答者の年代・性別は左図、同居家族、居住年数は下図のとおりです。

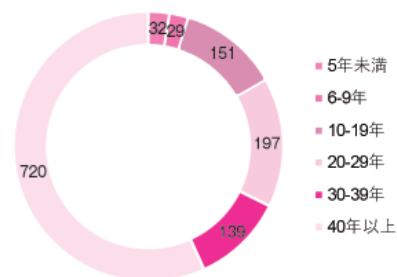
アンケート回答者の年代及び性別構成



同居家族人数（人）



居住年数（人）

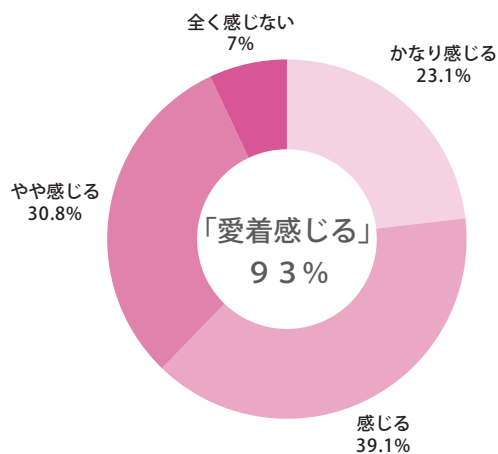


〈考察〉

- 年代構成の主流は60代と70代で、全体の43%を占めています。すぐ下の50代、40代との人数差が大きく、10年後には生産年齢人口の大幅な低下が予想されます。
- 居住年数は40年以上の人が圧倒的に多い一方で、居住5年未満の人口も意外といて、今後の取り組みしだいでは、流入人口の増加も決して不可能ではないと思われます。

全住民アンケート結果②

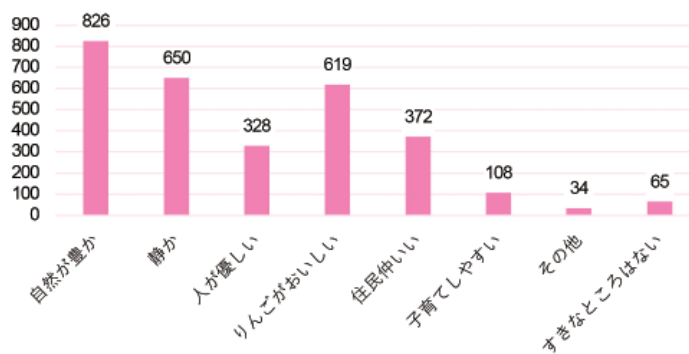
相馬地区への愛着度



「かなり感じる」「感じる」「やや感じる」を合わせ、93%の人が相馬地区に愛着を感じていました。旧相馬村という歴史的背景に加え、回答者の多くが40年以上在住という特性によると思われます。

相馬地区の好きなどころで最も多かったのが、自然の豊かさ、静かさ、りんごと続けました。いずれも市街地にはない相馬特有の恵まれた環境で、今後もこれらを維持していくように取り組んでいく必要があります。

相馬地区の好きなところ（人・複数回答）



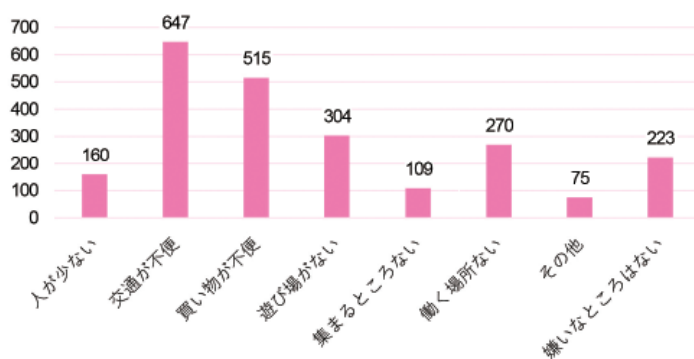
〈その他内容〉

- ・空気が美味しい
- ・大きな災害がない
- ・犬の散歩がしやすい
- ・川がきれいになった
- ・顔馴染みが多い
- ・山の食べ物がとれる
- ・夜空がきれい
- ・野生動物と共生できる
- ・治安がいい
- ・雪国だけに春の喜びが大きい
- ・除雪が迅速丁寧
- ・水が美味しい
- ・岩木山が近い
- ・のんびりしている
- ・温泉がある
- ・学校教育に地域住民が協力的

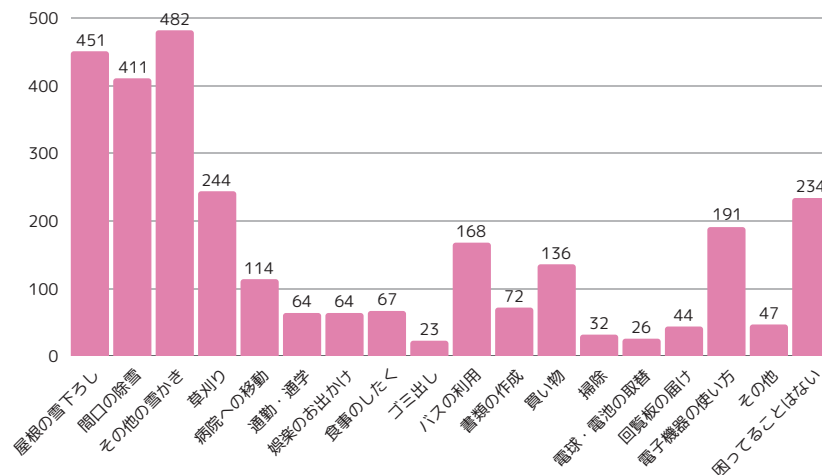
など

移動に不便を感じている人が多いことがわかります。通院や通勤に加え、買物への移動も自家用車を持っていない人には大変なようです。雪かきについては、2024年度の冬が過去最高クラスの大雪に見舞われたこともあって挙げる人が多く、重機などがないご家庭はかなり大変だったことが推測されます。

相馬地区の嫌いなところ（人・複数回答）



日常生活で困っていること（人・複数回答）

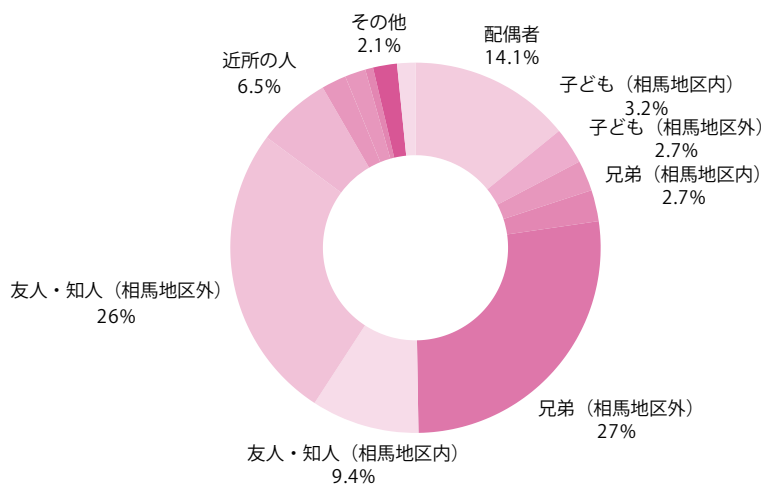


〈寄せられたコメント〉

- ・野良猫に餌や住処を与えている人がいて、糞尿等に迷惑している。
- ・電子機器の操作などを相談できるところが常設されているとうれしい。
- ・住宅と農地が近すぎて、煙や薬、またスプレーヤーとラジオの騒音が迷惑。

など

困ったときの相談相手（人・複数回答）



〈その他の相談先〉

- ・警察官 ・ケアマネジャー ・包括支援センターの職員 ・市会議員
- ・サンタハウス（老人施設）のトレーナー

〈寄せられたコメント〉

- ・自宅療養中なので、災害時に誰に相談して避難すればわからず不安。
- ・友人や知人がどんどん亡くなって、人との交流が少なくなりました。

〈考察〉

- ・地域の外にいる相手のほうが相談しやすいという傾向があるようです。
- ・「町会長」「役所」「民生委員」という回答が少なく、公的・中立的な立場で住民がもっと気軽に相談できる仕組みや機関の設置を考えていく必要もありそうです。
- ・「近所の人」という回答がそれなりに多かったことは、住民の結びつきが強い相馬ならではの結果といえるかもしれません。
- ・住民同士の絆を失わないように地域づくりをしていくことが相馬が相馬らしくあり続けられるポイントのひとつと言えるのではないかと思います。

あなたの町会の町会長	
あなたの町会の民生委員	
あなたの町会の公民館長	
弘前市役所 本町（代表番号）	0172-35-1111
相馬総合支所（代表番号）	0172-84-2111
中央公民館相馬館	0172-84-2316
中央公民館相馬館（ふれあい館）	0172-84-3475
弘前警察署	0172-32-0111
相馬駐在所	0172-84-3106

相馬の暮らしに役立つ便利帳	
誌名	内容
市民便利帳 暮らし弘前 <small>（発行：弘前市 / 株式会社サイネックス）</small>	弘前市の紹介をはじめ、緊急時の対処法や各種届出の方法、ごみ・リサイクルについてなど、弘前市で生活するために必要な情報を一冊にまとめた生活ガイド。毎年改定版が発行され、全戸配布される。
健康と福祉ごよみ <small>（発行：弘前市健康こども部健康増進課）</small>	出産や子育て支援、検診・ドックなどの情報、国民健康保険、介護保険など健康と福祉に関する情報をまとめた冊子。毎年改定される。全戸配布。

困ったことがあれば、町会長や民生委員、ご近所さんにご相談ください